

平成17年8月8日

高知県病虫害防除所より野菜やダイズなどの害虫、ハスモンヨトウに関する注意報が発令されましたので、お知らせします。

平成17年度病虫害発生予察注意報第1号の発令について

病虫害発生予察注意報は、重要な病虫害の多発生が予想され、早急に防除措置を講ずる必要が生じた場合に発令する情報です。

病虫害名：ハスモンヨトウ

作物名：露地野菜、ダイズ、施設野菜、花き類、飼料作物など

8月上旬に県下のサトイモほ場で行った調査では、発生の多かった昨年と同等の卵塊数となっており、南国市の定点調査ほ場（農業技術センター内）でも7月下旬から急増しています。また、各調査ほ場ではすでに孵化した幼虫が多数見られています。

さらに、性フェロモンをもちいたトラップ調査でも、県東部～中央部において6月以降多めで推移しています。

しかし、向こう一ヶ月の気象予報では気温は平年並か高く、降水量、日照時間は平年並と予想されていることから、密度の減少要因は少なく、今後も多発生が続くものと思われます。

ハスモンヨトウは老齢幼虫になると防除効果が低下しますので、ほ場をよく観察し、若齢幼虫期の防除に努め、1回の薬剤散布で防除が困難な場合は5～7日間隔で数回散布する必要があります。ただしその場合、同一薬剤の連用は避けてください。また、施設栽培ではハウスサイドや天窓に防虫ネットを被覆するなどして成虫の侵入防止に努めてください。



サトイモの葉を集団で食害する若齢幼虫



ピーマンを食害する老齢幼虫

お問い合わせは、病虫害防除所、杉本、西(TEL.863-1132)または、環境農業課、山崎(TEL.821-4545)まで。